

# 阿南高専における全学的教育改革の取組

## 1. はじめに

阿南工業高等専門学校(以下、「阿南高専」とする)では、平成26年度文部科学省大学教育再生加速プログラム(AP)に採択され、学修成果の可視化と学生の学びの質保証を目指している。そのために全学的な教学マネジメントの改善を図る必要もあった。本事業は、阿南高専にこれまでなかった全学で活用するLMS (manaba) をICT活用教育の基盤と位置づけ、①社会人力・人間力の可視化、②ラーニング・ポートフォリオによる学修時間の確保、③教員のアカデミック・ポートフォリオ作成(AP)、ティーチング・ポートフォリオ作成(TP)、④学生調査IRの実施、の4つの取組を中心として事業を推進している。

平成30年度から始まった第3期認証評価においては、内部質保証の有効性が着目されているなか、阿南高専は平成30年度に高等専門学校機関別認証評価を受け、阿南高専におけるAP事業の取組成果は内部質保証への取組としても有益だった。ここでは、阿南高専における6年間の全学的教育改革について報告する。

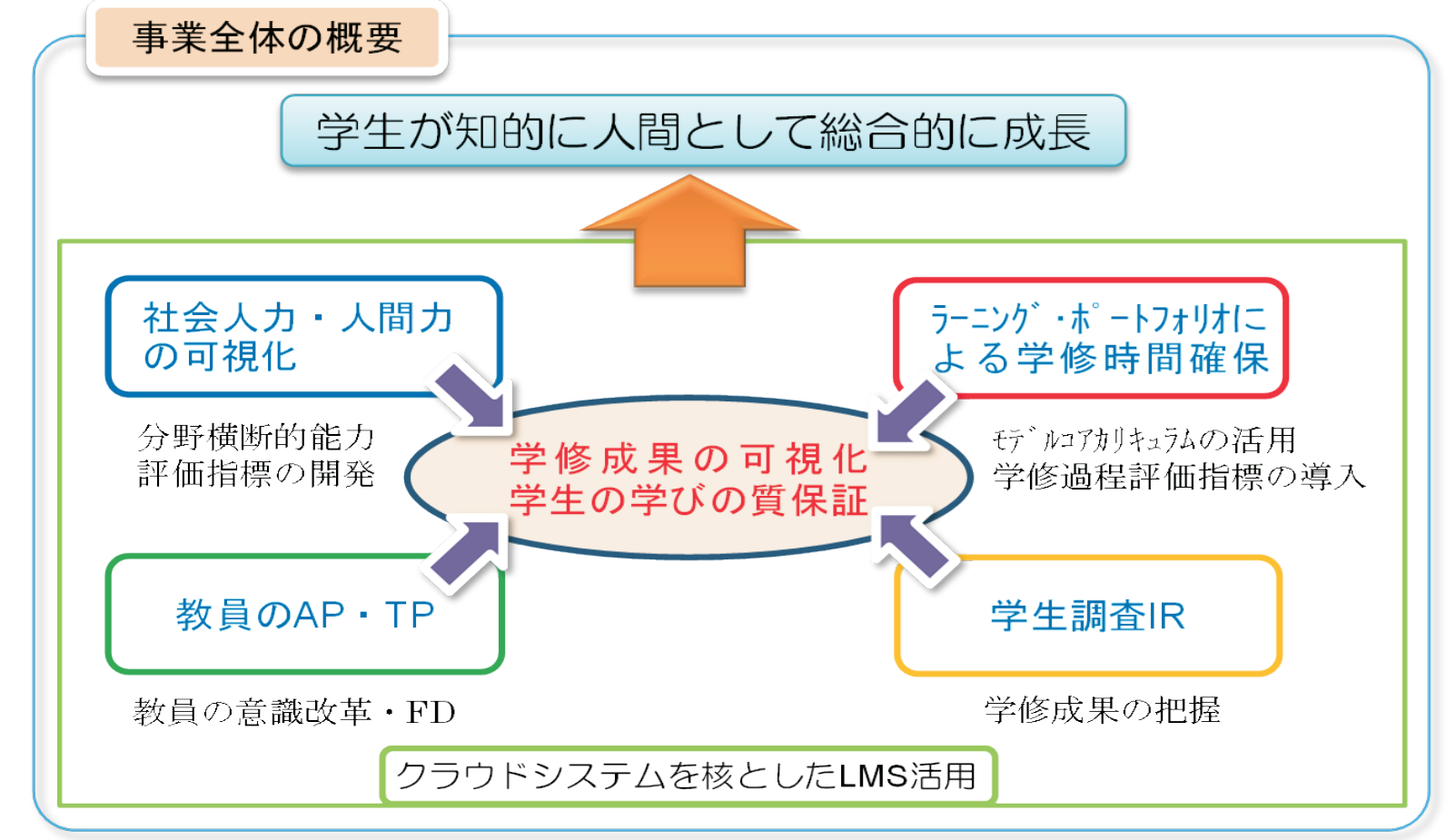


図1 AP事業概要

## 2. 取組成果≒内部質保証

### コンピテンシーの可視化と育成

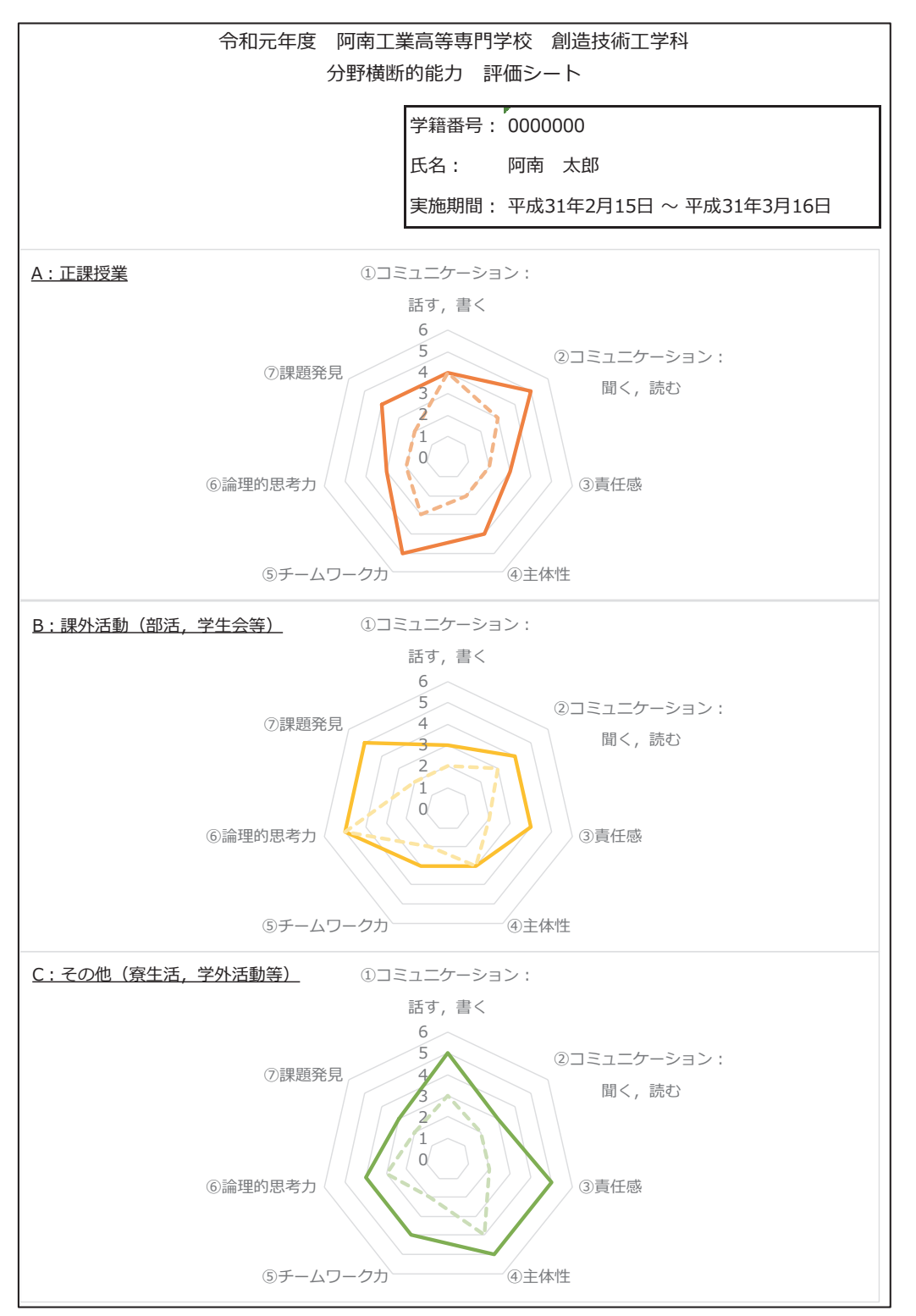
**コンピテンシーに関する企業(145社)アンケート**

重要度の高いコンピテンシーを特定

- コミュニケーション ※「読む・聞く」、「書く・話す」
- チームワーク力
- 課題発見力
- 主体性
- 責任感
- 論理的思考力

正課授業や課外活動ごとに育成できるコンピテンシーの調査・特定  
トランスフォーマティブ・ラーニングで育成へつなげる

ルーブリックを活用



### ラーニング・ポートフォリオによる主体性の涵養

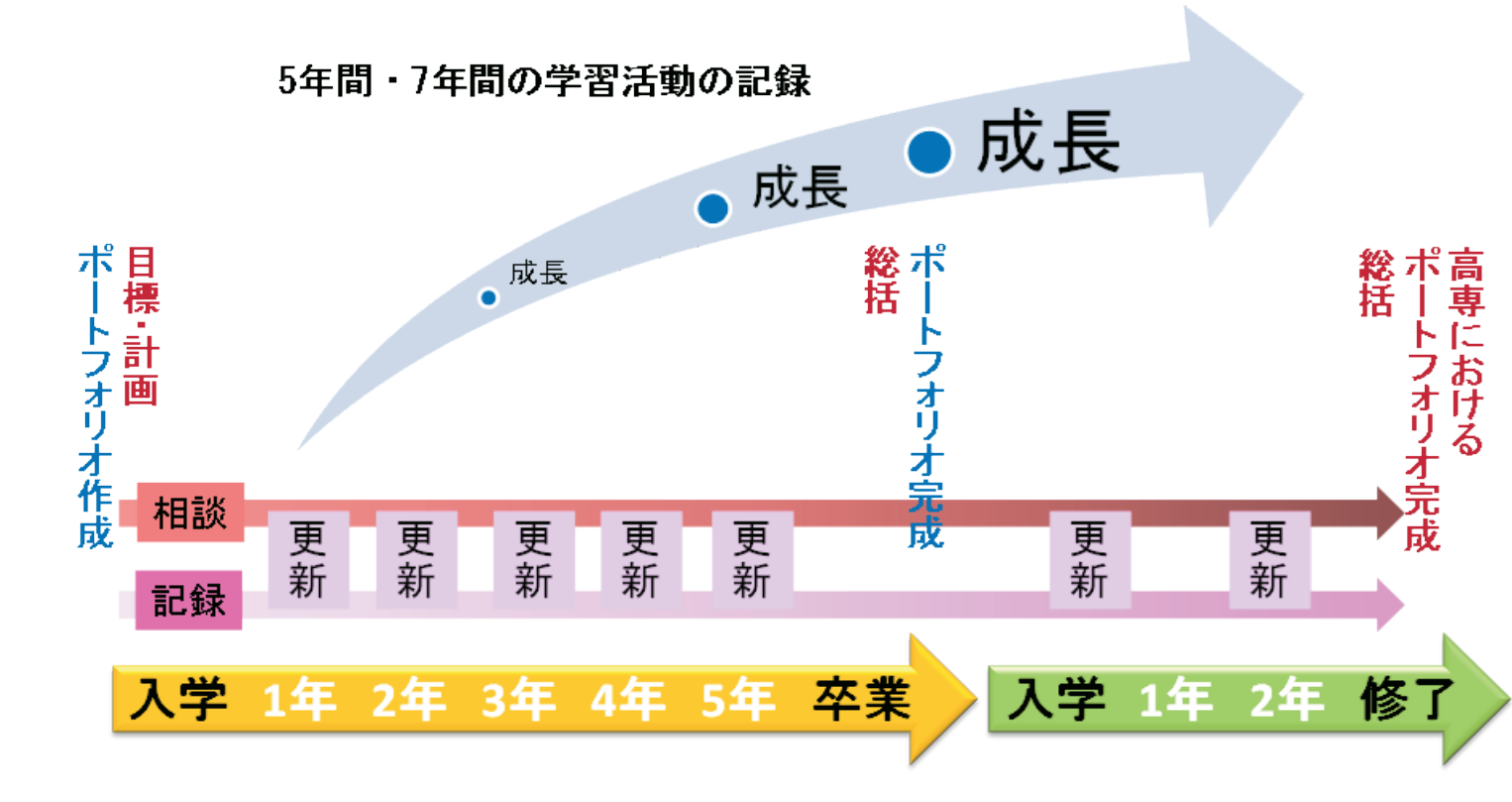
**LMS(manaba)の活用**

ドリル問題  
小テスト  
プロジェクト  
レポート

活動実績は自動的に蓄積

**目標設定**  
将来・学習・生活目標の設定  
振り返りと達成度自己評価  
学生指導に利用

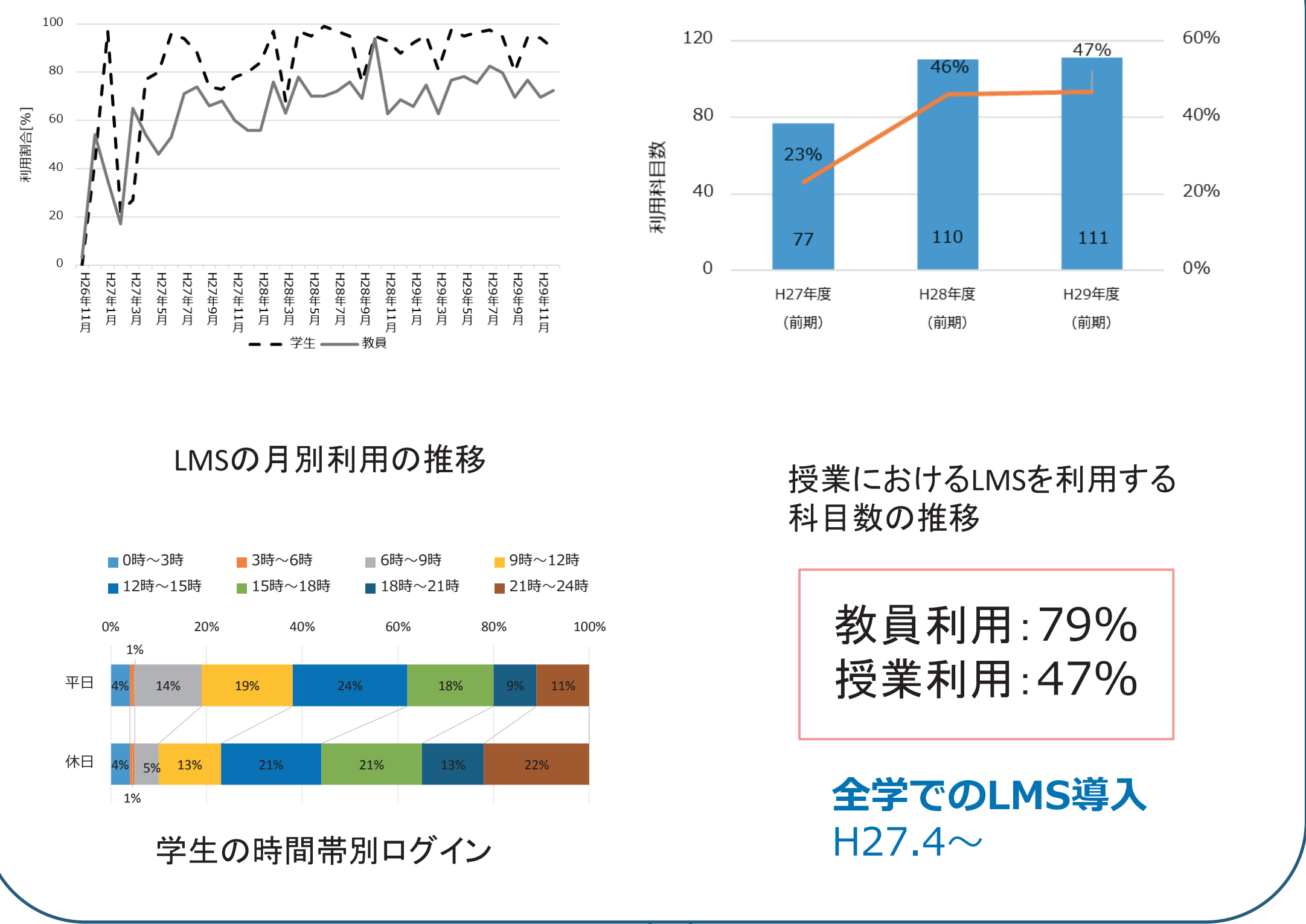
目標達成に向けて主体的に努力する習慣



**ポートフォリオ活用のミーティング**

学年	科目	ミーティング回数
1年	機械コース	学生支援ミーティング(年2回以上)
	電気コース	学生支援ミーティング(年2回以上)
2年	情報コース	学生支援ミーティング(年2回以上)
	建設コース	学生支援ミーティング(年2回以上)
3年	化学コース	学生支援ミーティング(年2回以上)
	学生支援ミーティング	学生支援ミーティング(年2回以上)
4年	学生支援ミーティング	学生支援ミーティング(年2回以上)
	キャリア教育	キャリア教育(年2回以上)
5年	学生支援ミーティング	学生支援ミーティング(年2回以上)
	キャリア教育	キャリア教育(年2回以上)
専攻	電気・制御システム工学専攻	構造設計工学専攻
専1年	学修支援ミーティング(年2回)	学修支援ミーティング(年2回)
専2年	学修支援ミーティング(年2回)	学修支援ミーティング(年2回)

### LMSの活用



### IRによる内部質保証データの活用

**平成30年度 学生生活実態調査まとめ**

教育に関する満足度: 86%	教員に対する満足度: 86%	施設・設備に関する満足度: 81%	高専生活全体に対する満足度: 85%
1日の睡眠時間: 7時間	心配事のある学生: 45%	1週間でスマホを利用する時間: 17時間	朝食について: 95%(食べる)
授業外の学習時間: 11.8時間	クラブ・同好会・愛好会入会率: 76%	入学時にモチベーションの高い学生: 91%	阿南高専の教育目標達成率: 73%
成績評価の分布: 優 55%, 良 43%, 可 2%	進学者数: 13人	卒業後の進路: 就職101名(52%), 進学17名(23%), その他16名(8%)	県内に就職した学生: 21%

### アカデミック・ポートフォリオによる教員FD

TP作成作業

個人ミーティング

TP披露

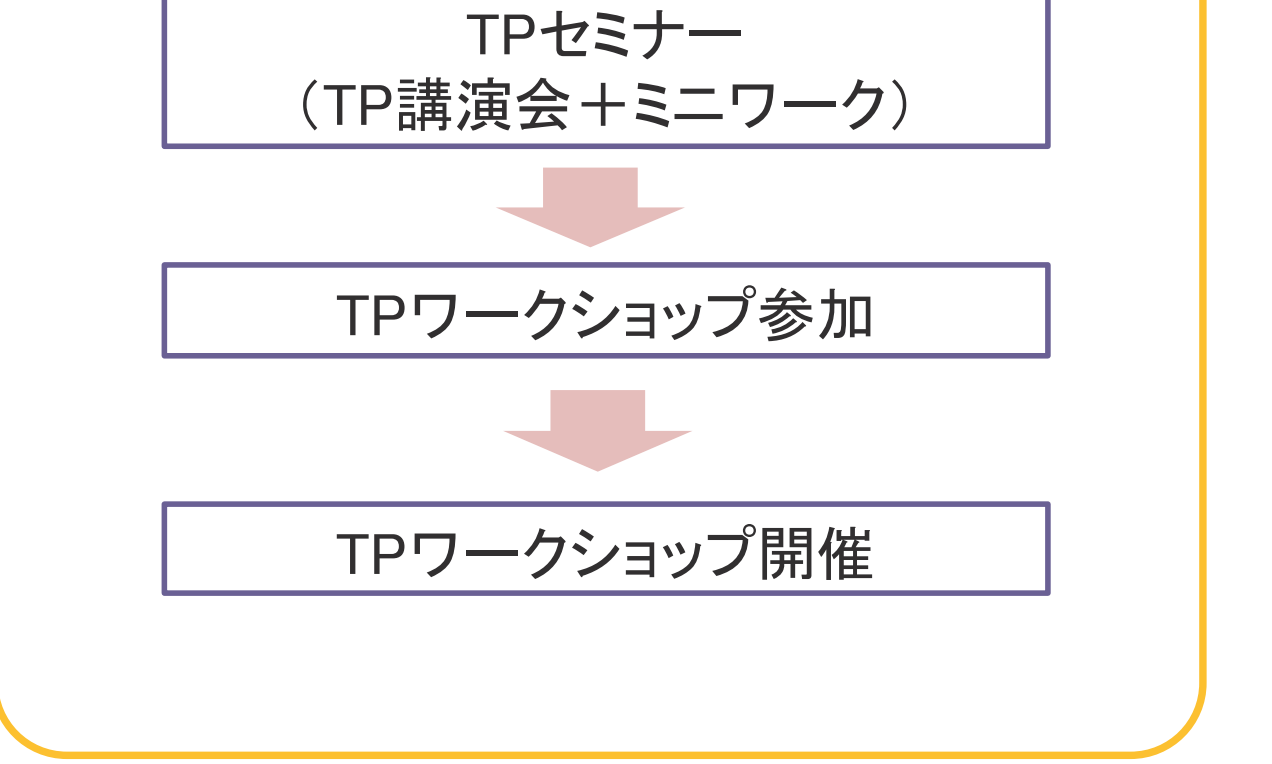
校長から修了証書授与

アカデミック・ポートフォリオ作成 WSも同時開催

### TPWSの開催

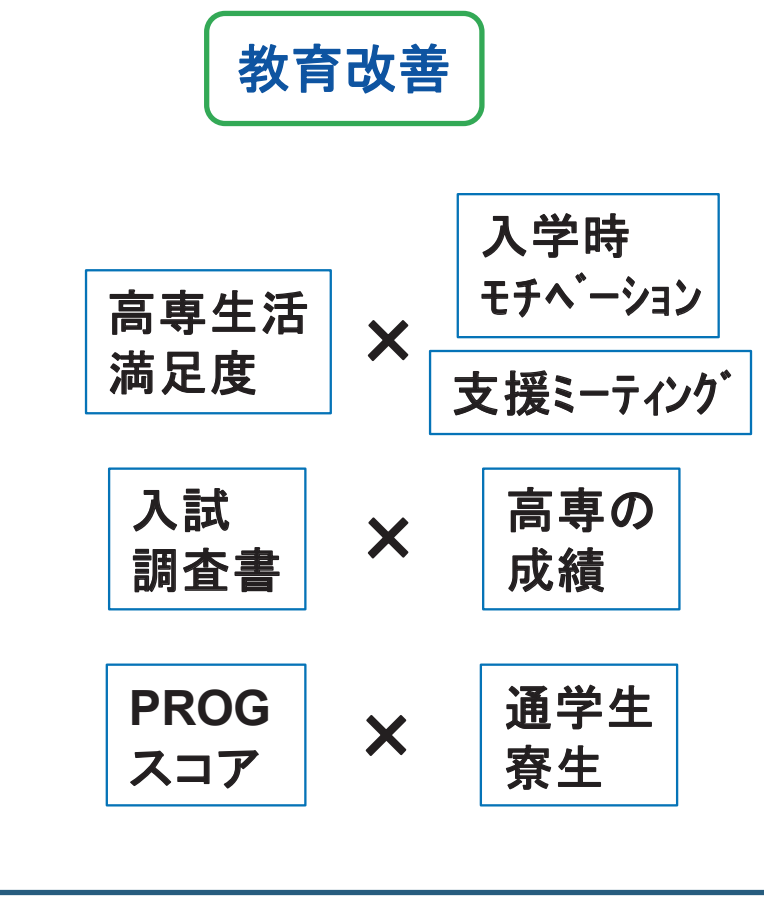
- 北海道・東北: 釧路高専, 旭川高専, 苫小牧高専, 函館高専, 弘前大学
- 関東・中部: 茨城キリスト教大学, 大学評価・学位授与機構, 日本大学, 芝浦工業大学, 玉川大学, 公立大学協会, 都立産業技術高専, フレックス
- 近畿・中国: 大阪府立大学高専, 徳山高専, 立命館大学, 広島大学, 県立広島大学, 山口県立大学, 摂南大学
- 四国・九州: 愛媛大学, 徳島大学, 阿南高専, 高知高専, 香川高専, 引削商船高専, 佐賀大学, 聖マリア学院大学, 大分大学, 宮崎大学, 鹿児島高専

### TP普及パターン



- 入学時アンケート
- 卒業時アンケート
- 学生生活実態調査
- シラバス到達度調査
- 入学者のアドミッションポリシーへの適応確認等

### データの可視化・全教員の共有



## 3. おわりに

LMSの活用を教育基盤とした事業の核をなす4つの取組はいずれも順調に進捗しており、大学改革の加速化が達成されている。他機関からの要請によるワークショップの開催や、各種シンポジウムやフォーラムにおける成果報告を積極的に行っており、事業成果の普及も進んでいる。また、アクティブ・ラーニングの推進を図るために3名の教員が CompTIA CTT+の資格を取得したり、組織的な継続性からIR戦略室を立ち上げたことにより、今後の事業の継続性を具体的に計画している。

